

経営比較分析表（平成29年度決算）

千葉県匝瑳市 国保匝瑳市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	17	-	ドI訓	救 臨 輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
37,207	8,795	第2種該当	10：1	

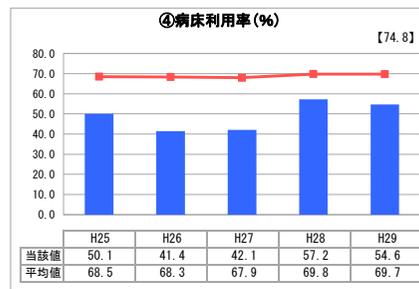
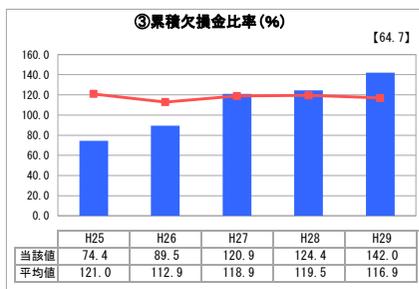
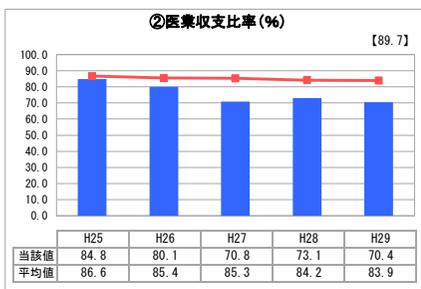
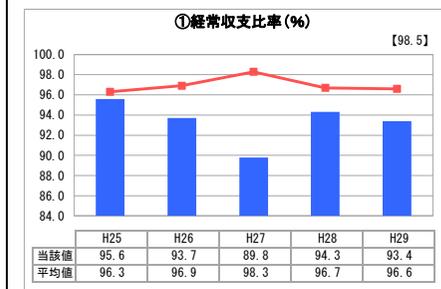
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
110	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	110
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
110	-	110

グラフ凡例
 ■ 当該病院値（当該値）
 - 類似病院平均値（平均値）
 [] 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

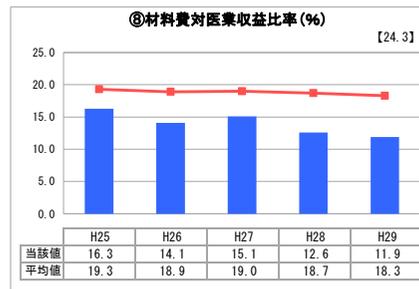
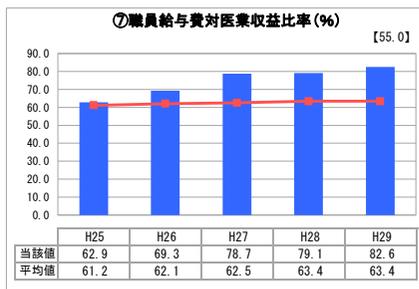
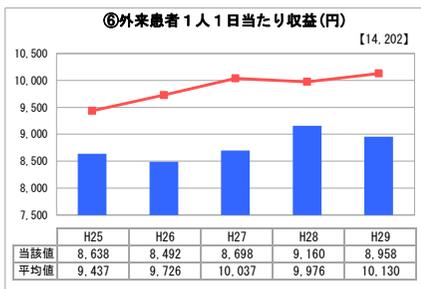
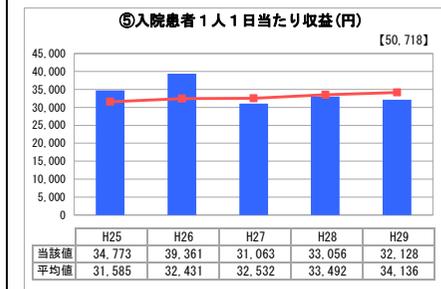


「経常損益」

「医業損益」

「累積欠損」

「施設の効率性」



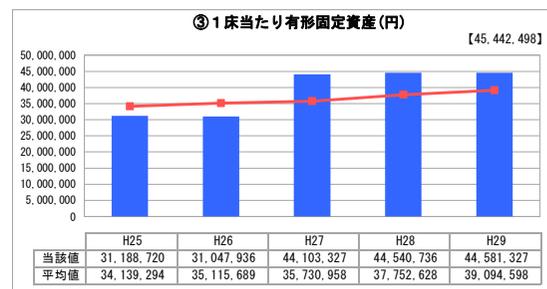
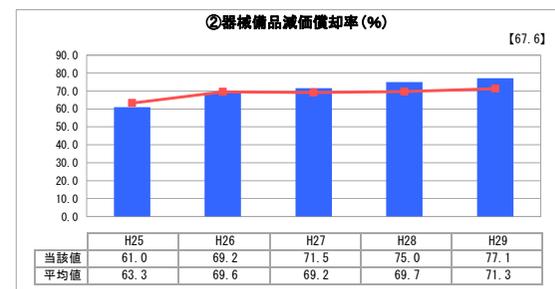
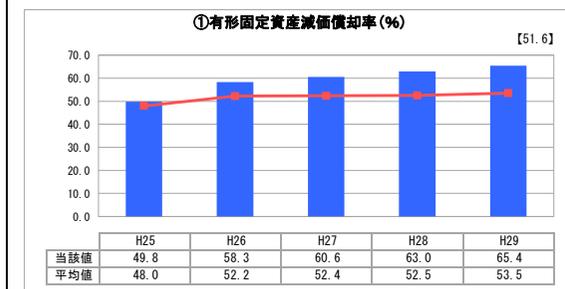
「収益の効率性①」

「収益の効率性②」

「費用の効率性①」

「費用の効率性②」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」

「器械備品の減価償却の状況」

「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

当院が位置する香取海浜地域は、地域医療構想で回復期病床が不足することが見込まれていることから、当院では、引き続き急性期医療を担っていく一方、高度急性期・急性期を脱した患者の受け入れ体制についても充実させていく。

また、在宅療養支援病院として、24時間の往診・訪問看護を提供するとともに、介護老人保健施設を併設して、医療から福祉まで切れ目のないサービス提供を行っているところであり、今後も市民が安心して生活できるよう、地域包括ケアの実現を目指していく。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全性を示す経常収支比率は93.4%、医業本体の収益性を示す医業収支比率は70.4%と低く、類似団体と比較しても、いずれも低い数値となっている。

入院患者、外来患者数が年々減少しているため、医療収益が減少し、費用では人件費、経費が増加している。このため赤字決算が連続することとなり、累積欠損金比率は増加している。H29年度は医療収益の落ち込みにより更に増加している。

病床利用率については、H28年2月に病床数を157床から110床に変更したため、H28年度で表面上の率は上がっているが、実質的な患者増にはなっておらず、H29年度は前年度より更に減少した。

職員給与費対医業収益比率は、医療収益の急激な落ち込みに伴い大幅に上昇している。

2. 老朽化の状況について

病院施設のうち第1病棟と管理棟のある建物は昭和46年築と最も古く、次いで総合受付・ロビーや外来部門の多くが配置されている建物が昭和48年築、第2病棟が配置されている建物が昭和59年築となっており、老朽化による漏洩箇所不明の雨漏り等により、一部診療業務や患者サービスの提供に支障が出ている。

老朽化の進行度を示す有形固定資産減価償却率は類似団体との比較でも高い数値となっており、施設の老朽化が進んでいることを示している。

器械備品減価償却率については、毎年医療機器の計画的な更新を図っているものの、年々上昇しており、全体的には老朽化が進んでいる状況である。

全体総括

各指標が悪化している要因は、医師不足が進んだことにより、医療収益が大幅にかつ急速に悪化したことによるものである。

急激な減少に費用の圧縮が追いついていない状況であるため、今後も医療収益に応じた費用の削減を図っていく必要がある。

また、費用のうち大きな割合を占める職員給与費については、今後の患者数の見込みに応じた適正な職員数を基本として、職員給与費の抑制のための職員定員管理を行う必要がある。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。